

九重町と、災害時支援の協定を締結 (大分地熱開発株式会社)

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）の関連会社である大分地熱開発株式会社（本社：大分県大分市、代表取締役社長：中野勝志）はこのほど、災害時における緊急電源などの供給支援に関する協定を、九重町（大分県）と締結しました。

協定は、豪雨、地震、暴風等による災害が発生した場合、九重町による支援要請に基づき、大分地熱開発が積極的に協力、優先的に緊急電源や生活用水等の供給を行うことで、九重町住民の避難生活の安定を図ることを目的としており、2024年3月8日に締結したものです。

ATK100%出資の大分地熱開発は、「自然エネルギーと共創する社会」を目指して2013年3月に設立されました。現在は野矢第一バイナリー発電所、野矢第二バイナリー発電所を有して展開する地熱発電事業と、再生可能エネルギー関連のコンサルティング事業に取り組んでいます。また、小電力発電による再生可能エネルギー、電気駆動の軽自動車、リチウムイオン蓄電器で構成した「モビリティ蓄電システム」による、地域社会の生活基盤を支える活動を推進しています。

大分地熱開発の代表取締役社長である中野勝志は、協定締結について以下のように語っています。

「九重町では2020年7月に豪雨災害が発生しました。多大な労力と時間を費やし復興したものの、町で暮らす皆様の心のうちには今でも払拭できない生活への不安が残されていることとされます。

このたび締結した協定では、弊社が提唱する『モビリティ蓄電システム』を有効に活用できます。これにより、九重町の基本目標のうち、『自然とともに、心地よく暮らせるまちづくり（自然・生活環境）』、『安全・安心な暮らしを守るまちづくり（防災・防犯）』、『助け合い、みんなで支えるまちづくり（健康・福祉）』へ貢献し、ひいては災害への不安を少しでも和らげられればと考えています」

以上

企業情報

大分地熱開発株式会社（代表取締役社長：中野勝志）

設立： 2013年3月4日

事業内容： 地熱を中心とした再生可能エネルギーの開発、施工、運営管理、電力販売および総合コンサルティング

所在地： 〒870-0021 大分県大分市府内町一丁目6-43 Bスクエアビル2階

電話番号： 097-513-1210